

稲沢北小学校だより

TEL 0587-23-1555

きずな

Eメールアドレス

es-inazawan@inazawa-aic.ed.jp

第126号

R 5 . 1 0 . 1 6

『感謝』…さまざまな方の支えがあつてこそ

稲沢北小学校長 三川 純代

日ごとに秋の深まりが感じられるようになり、早いもので、令和5年度も折り返しを過ぎました。

さて、先日の稲北運動会では、多くの保護者、地域の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。今年度は、学級閉鎖による延期のために平日開催となり、ご心配をおかけしました。しかし、急な延期、平日開催にもかかわらず、予定を調整し、応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。そして、都合がつかず、お越しになれなかった皆様、大変申し訳ありませんでした。当日は、爽やかな秋空の下、子どもたちは練習の成果を発揮し、全力で取り組む姿を見せてくれ、うれしく思いました。運動会が終わったその日の夕方、お子さまと一緒に遊びに来られた保護者の方々に「今日は、平日の開催になって、申し訳ありませんでした」と声を掛けると、「いえいえ、こちらこそ、運動会を行ってくださって、ありがとうございました」「皆、がんばっていましたね」と、笑顔で応えてくださいました。そんな温かい言葉に、大変救われたと同時に、私自身学ばせていただきました。

今年は、9月になっても厳しい暑さのため、こまめに熱中症指数(WBGT)を計測し、熱中症予防をしながら運動会の練習を行ってきました。運動会当日には、長時間外で過ごすことになるため、今年度も稲沢市民センターや稲沢西中学校からテントをたくさんお借りし、設置しました。この設置や片付けの際には、地域の方にもお手伝いいただき、教職員、子どもたちとともに作業を行いました。このように、本校の教育活動は、さまざまな方の支えがあつて成り立っています。本当に『感謝』の一言に尽きます。

ありがとうございました。

これからも、子どもたちの学びが充実したものとなるよう、教職員一同取り組んでまいります。保護者、地域の皆様におかれましては、今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまでと変わらぬ、ご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

1年生「いきものと なかよし」

まだまだ暑い日が続いていますが、涼しい日が少しずつ増え、外で遊ぶことができる日も増えてきました。けやき広場で過ごす子どもたちの表情もとても気持ちがよさそうです。1年生の生活科「いきものと なかよし」の学習では、けやき広場でいきものを見つれたり、様子を観察したりするなど、

どの子も楽しそうに活動していました。「シヨウリョウバッタを見つけたよ」「かえるが土の色になっていたよ」「トンボがいてきれいだったよ」などと、いきいきと友達と話す姿は、入学当初に比べると、ぐっと成長して見えました。





稲北運動会 ～それぞれの学年の活躍～



10月3日（火）に稲北運動会を行いました。

低学年

1・2年生は、「徒競走」と「ダンシング玉入れ」を行いました。

「徒競走」では、50mを力いっぱい走り抜き、接戦の勝負でした。

「ダンシング玉入れ」では、身体全体を一杯に使ったダンスと、かごを目がけて一生懸命投げた玉入れを披露しました。かごに入った玉を数えるときには、他学年の児童も一緒に、大きな声で玉の数を数え、大いに盛り上がりました。



中学年

3・4年生は、「徒競走」と「縄跳び」と「綱引き」を行いました。

「徒競走」では、最後まであきらめずに全力を出して走り切りました。必死にがんばる友達に対して、声を出して応援する姿が見られました。

「縄跳び」では自分の得意な技を披露するなど、一人一人の個性が感じられる演技でした。

「綱引き」では、チームの仲間と息を合わせて、一本の綱を一杯引き合いました。



高学年

5年生は「徒競走」と「出た目で勝負」、6年生は「徒競走」と「ダンス」を行いました。

「徒競走」では、120mを走りました。ゴールするまではどの子も必死になって走り切ることができました。結果発表まで、勝ち負けが分からない展開に、会場も盛り上がりました。

5年生の「出た目で勝負」では、さいころを転がすたびに大きな歓声が沸き上がりました。

6年生は、スピード感とキレのあるダンスを披露しました。アップテンポの振り付けに、はじめは苦戦しながらも、互いに教え合いながら練習した成果を、100%発揮することができました。素早い隊形移動もあり、見ている人を大いに楽しませました。



2年生

生活科～ぐんぐんそだて わたしの野菜～

1学期、個人でミニトマトを、グループに分かれてさまざまな野菜を自分たちで育てました。苗の状態から育てていく過程の中で、葉の数が増え、花が咲いたり、実はできていないけれどその野菜の香りがしたりと、多くのことを発見し、子どもたちは大変驚いていました。その香りに引き寄せられてきた虫に気付くと、「どうしたら虫から野菜を守れるだろうか」「もっと大きく育つにはどう工夫したらよいか」を考え、話し合う姿は真剣そのものでした。

普段何気なく口にしていた野菜を、自分たちで一生懸命に思いを込めて育てていくにつれ、「これからはもっと気持ちを込めていただきますを言いたい」と振り返りカードに書く児童もおり、多くの学びを得ることができました。

